

I ジョウゴグモ科（ハドロニユケ属の全種）

【国内における確認状況】

- ・国内で見つかったことはない。

【生態：生息地など】

- ・夜行性で、甲虫やゴキブリ、トカゲなどを捕食する。
- ・枯れ木や石の下や割れ目などに営巣する。
- ・住宅街では、岩を多く配置した庭や低木が蜜な庭を好み、芝地などの開けた場所での営巣はほとんど見られない。

（いずれも海外事例を参考）



キノボリジョウゴグモ（ハドロニユケ属の一種）

[“Hadronyche cerberea” By Alan Couch, via Flickr. CC-BY -2.0](#)



【形態：大きさや特徴】

- ・背甲には光沢があり、^{ちゅうか}中窩は深く曲がっている。
- ・^{せがん}背眼は頭部前方中央部に集中する。
- ・^{いといぼ}糸疣は4つあり、このうち後方のものが最も大きい。
- ・^{こうき}口器の中で下唇には短く鋭くは無い棘が生えている。

【原産地】

- ・原産地はオーストラリア東部、南部。

健康被害の具体例

- ・^{しこう}刺咬後10分以内に、^{おしん}悪心・^{りゅうり}嘔吐・腹痛・発汗・流涙などの症状が現われる。

重篤な例では、全身痙攣をきたし、呼吸困難に陥る。

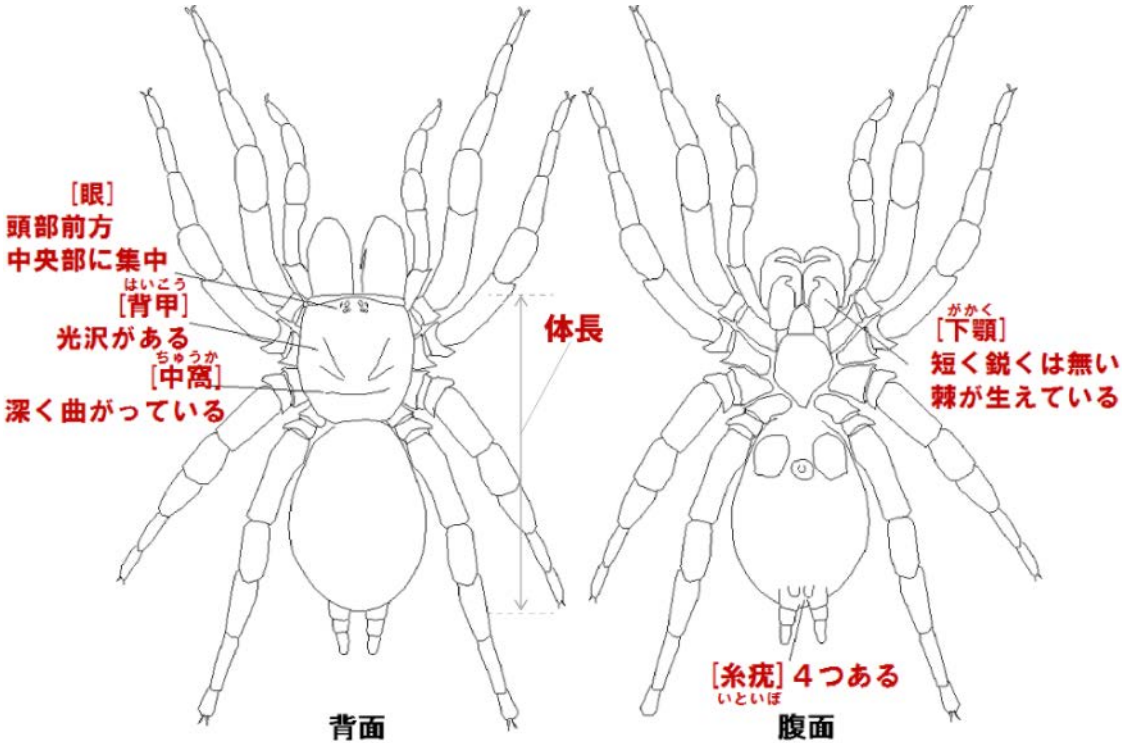
- ・ジョウゴグモ刺咬症は、オーストラリアの代表的なクモ刺咬症で、抗血清生産以前の1927年から1980年までに少なくとも13件の死亡例が確認されている。

被害を受けた場合の対処法

- ・医療機関を受診

特徴・間違えやすい類似種との識別点

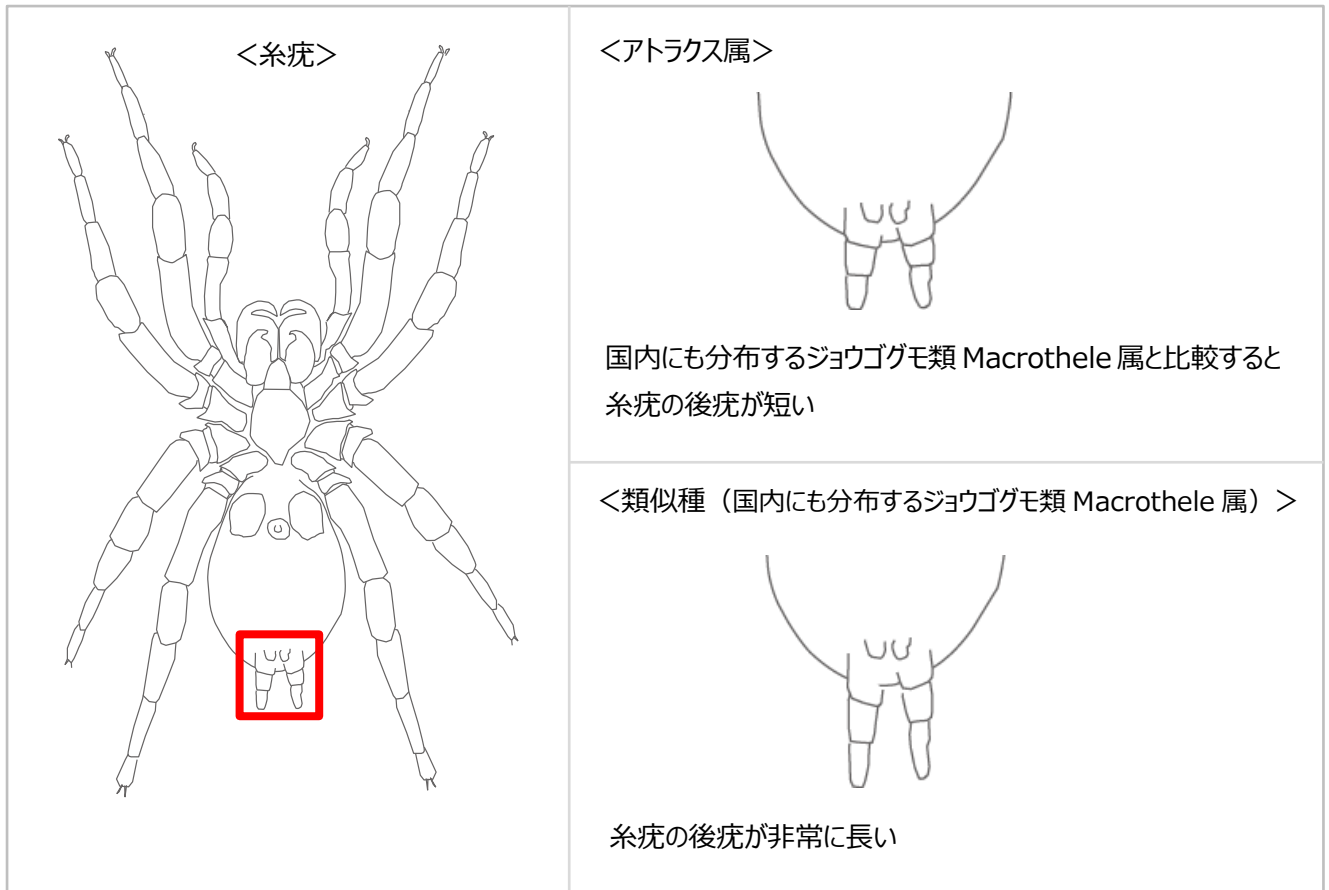
【ハドロニューケ属の特徴】



【間違えやすい類似種との識別点 (1)】

<p>ほきやくけいせつ <雄の第2歩脚脛節下部></p>	<p><ハドロニューケ属></p> <p>円錐状の突起無し</p>
	<p><アトラス属></p> <p>雄には円錐状の突起がある</p>

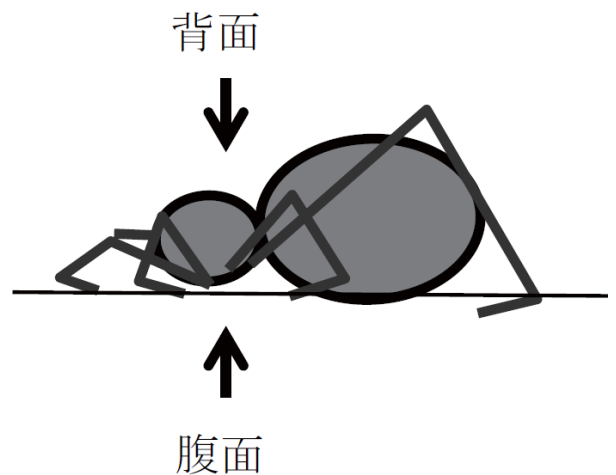
【間違えやすい類似種との識別点（2）】



【類似種】



【クモの体】（横からみたところ）



Macrothele calpeiana : スペイン南部原産で周辺国で外来種として定着

[Mygalomorphae, Macrothele calpeiana](#) By shannon mcoll 

駆除方法

- ・ピレスロイド系の家庭用殺虫剤を散布する。
- ・人家内では、ナフタリンを家具の隙間や中に入れておくと効果的である。

 [危険な外来生物 Web サイトへ](#)

この資料についてのお問い合わせは、下記までご連絡ください。
東京都環境局 自然環境部計画課 / TEL 03-5388-3548 FAX 03-5388-1379

[4]

このページの内容の一部は、Flicker 等が提供しているコンテンツを利用しており、クリエイティブ・コモンズの表示ライセンスに記載の条件に従って使用しています。

本サイト上の文書や画像等に関する諸権利は東京都に帰属します。本サイト上の文書・画像等の無断使用・転載を禁止します。

Copyright©2016 Bureau of Environment.TMG. All Rights Reserved